

## 1 この科目の構成について

教 科	芸術科	科 目	日本画	単 位	1単位
対象コース	美術コース	対象クラス	2年7組		
使用教科書	美術Ⅱ（光村図書）				
使用副教材					

## 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
①	膠・胡粉・岩絵具・顔料・墨の特性と用具の使い方など、伝統的な専門技法の学習
②	日本画の制作工程を一通り実習し、来年度へ向けた基礎実習とする
③	綿密な観察による描写の実習
④	日本画特有の空間の追究
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	専門的知識と経験が必要な日本画は、約1ヶ月の集中授業の形式で学習し、専門の講師が指導にあたる。2年次では、1年次に実習した顔彩による細密描写を踏まえ、全て岩絵具を使用して制作する。 岩絵具の基本的な使い方と、各種描法の手順を学ぶ。描法は、墨描きで進める方法と、画面に地塗りを施して描く方法、揉み紙をする方法の3種類から選択して制作する。 モチーフは「花」。背景とモチーフの空間関係に留意して描く。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	主に授業時間内で実習し、放課後等課外時間も有効に使う集中した制作を行う。放課後の実習時間は各学年を曜日で振り分けてアトリエを使用する。
(2) 家庭	なし

## 3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	主に完成した作品によって評価する。 技術的、創造的に優れた作品を評価するほか、完成するまでの過程、取り組みの姿勢を見る。各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。
評価における定期考査の割合	
	0%

## 4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度	課題に取り組む意欲、態度
(2) 思考・判断	画面全体を構成する総合的判断力
(3) 技能・表現	デッサン力、色彩感覚、表現力
(4) 知識・理解	画材の知識と理解

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知
1	6 ～ 7	「日本画」	<p>「日本画・花」（40時間） F8雲肌麻紙に岩絵具</p> <p>モチーフの花のデッサンし、着彩する。 その後は下記の3つの描法から選択する。</p> <p>① 墨描き 濃淡2～3段階の墨で、線に強弱をつけながら骨描きする。 白か15番の細かい粒子の絵具で地塗りを施す。 墨の線を生かしながら、岩絵具で描く。</p> <p>② 地塗り 黄土の白で地塗りをし、焦茶や黒の9～11番で下塗りをした後、 15番前後の岩絵具を入念に塗り重ねる。 地塗りの上からねん紙でトレースダウンをし、その上から岩絵具で 彩色する。</p> <p>③ 揉み紙 麻紙を薄墨で、もし紙して、その後水張り。 白か15番の細かい粒子の絵具で地塗りを施す。 地塗りの上からねん紙でトレースダウンをし、その上から岩絵具で 彩色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な専門技法の学習</li> <li>・日本画の制作工程を一通り実習</li> <li>・綿密な観察による描写の実習</li> <li>・日本画特有の空間表現の追究</li> </ul> <p>道徳教育を実施</p>	●	●	●	●